

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【家 庭】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へつながるよう学習内容が配列されており、児童の発達の段階に応じて、系統的に学べるように構成されている。また、5 学年では 8 題材、6 学年では 7 題材が設定されており、題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようになっている。基礎的な知識や技能の多くを 5 学年で学習し 6 学年で再度学習することで、より確実な定着を図るように配分されている。各題材の振り返りや各学年末の「まとめ」を設定することで、自分の成長を実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じて「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「深めよう」が設定されている。児童同士の対話を通して、自らの考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(3) 「イエッティー」や「トリー」、児童のキャラクターが、家庭科の見方・考え方や学習のポイントを吹き出しで具体的に示すことで、児童の学習意欲を高めるとともに理解を深められるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 習得した知識や技能を、家庭や地域の中で活用できるようにするために、単元の終末の段階において「深めよう」や「生活を変えるチャンス!」「夏休みわくわくチャレンジ」等の中で、実践例や具体例を丁寧に紹介し、学びを生かして取り組むことができるような課題設定の工夫が見られる。</p>	<p>表紙裏～p2</p> <p>P6, 7 p79, 135</p> <p>p13, 15, 16, p19, 22</p> <p>p1, 2</p> <p>p19, 35, 42, p52, 65, 100, p101, 121, 134</p>

<p>9 開隆堂出版</p>	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、スモールステップによる反復学習を通して基礎的・基本的な内容を定着させ、応用・発展的な内容へつながるよう学習内容が配列されており、2年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、5学年では「生活を見つめ、できることを増やしていこう」で11題材、6学年では「工夫して生活に生かそう」で9題材が設定されている。題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導を展開できる配列となっている。6学年の終わりには、2年間の学習を振り返り、中学校の学習へつながるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じ「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」といった小課題が設定されている。児童同士の対話を通して、自らの考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(3) 「クローバー」や「カラフルうさぎ」等、多様性に配慮したキャラクターが家庭科の見方・考え方や学習のヒントを吹き出しで具体的に示すことで、児童の学習意欲を高めるとともに、理解を深められるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 習得した知識や技能を、家庭や地域の中で活用できるようにするために、単元の終末の段階において「生かす・深める」や「レッツトライ！生活の課題と実せん」等の中で、わかったことやできるようになったことを生かし、深められるような課題設定の工夫が見られる。</p>	<p>P4, 5</p> <p>p136, 137</p> <p>p16, 22, 29, p30</p> <p>表紙裏～p2</p> <p>p36, 37, 65, p80～83, 108, p135</p>
----------------	---	---